

臨床研修定数の最終配分調整について

1 調査項目の追加（2年連続配分の制限）

経過

- ・平成28年度最終配分調整において、前年度最終配分調整で増員した病院が上位となり、連続で増員した。
- ・募集定員数の増員希望病院が多い中で、「2年連続で増員することへの是非」について前回の協議会で意見があり、事務局で検討することとなった。

検討

- ◇ 臨床研修医の定数増を希望する病院が多い中で、最終配分調整を行える人数は毎年度数人であり、公正な配分が求められている。

一方、臨床研修医が充実した研修環境、研修プログラムにおいて、臨床研修が行えることが最も重要である。

より良い環境のもとで臨床研修が行えることを最優先とし、同等の環境では特定の病院に集中しないように配慮する



改正案

最終配分調整において、同一評点の配分対象の病院が複数ある場合、2年連続の配分はしない。

- ・評点の高い病院から順に配分する。
- ・同一評点内の病院数より、配分できる人数が少ない場合は、2年連続を避け前年度に配分していない病院を優先する。

臨床研修定数の最終配分調整について

2 調査項目一覧表の変更（病院名の記載の削除）

経過

- ・最終配分調整の決定にかかる「調査項目一覧表について、従来、病院名を入れて資料として提示していた。
- ・委員への事前説明の場で、「病院名を提示すると、協議会として公平公正な判断を行っているにもかかわらず疑念を生む余地がある」という指摘があった。

検討

- ◇ 従来から、病院名を表示した調査項目一覧表を提示し、公平公正に議論していただけた。
- ・病院名がわかる方がイメージし易く、議論が円滑に進む。
- ・反面、判断に影響を与えたり、影響を与えたと疑われる余地が残る。

<現状>

番号	病院名	定員増減			マッチング実績				指導医数				指導体制	
		27年度募集定員	29年度大阪府ベース値	27年度募集定員との増減	フルマッチ状況			27年度希望職位登録者数	臨床研修医数 (1年次・2年次の合計)	指導医数			総合診療科 研修日数 (研修医1人あたり)	研修の進捗状況 管理方法
					25年度	26年度	27年度			小児科	産婦人科	救急部門		
1	堺市立総合医療センター	9	9	0	○	○	○	20	16人	2人	1人	8人	36.5日	EPOCなど 研修医手帳 独自の評価表
2	府中病院	10	10	0		○	○	29	20人	1人	4人	2人	53.74日	EPOCなど 研修手帳 自院作成360°
3	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会 千里病院	5	5	0	○	○	○	16	9人	2人	3人	10人	38日	研修医手帳



改正案

医療対策協議会の公平公正な議論を担保し、あらぬ疑念をいだかれないよう、次回以降は病院名を提示しない。

<改正案>

番号	病院名	定員増減			マッチング実績				指導医数				指導体制	
		27年度募集定員	29年度大阪府ベース値	27年度募集定員との増減	フルマッチ状況			27年度希望職位登録者数	臨床研修医数 (1年次・2年次の合計)	指導医数			総合診療科 研修日数 (研修医1人あたり)	研修の進捗状況 管理方法
					25年度	26年度	27年度			小児科	産婦人科	救急部門		
1	A病院	9	9	0	○	○	○	20	16人	2人	1人	8人	36.5日	EPOCなど 研修医手帳 独自の評価表
2	B病院	10	10	0		○	○	29	20人	1人	4人	2人	53.74日	EPOCなど 研修手帳 自院作成360°
3	C病院	5	5	0	○	○	○	16	9人	2人	3人	10人	38日	研修医手帳